

**水産物の産地水揚量・卸売価格、輸出入
及び家計消費の月別動向について(月報)**
(平成21年3月)

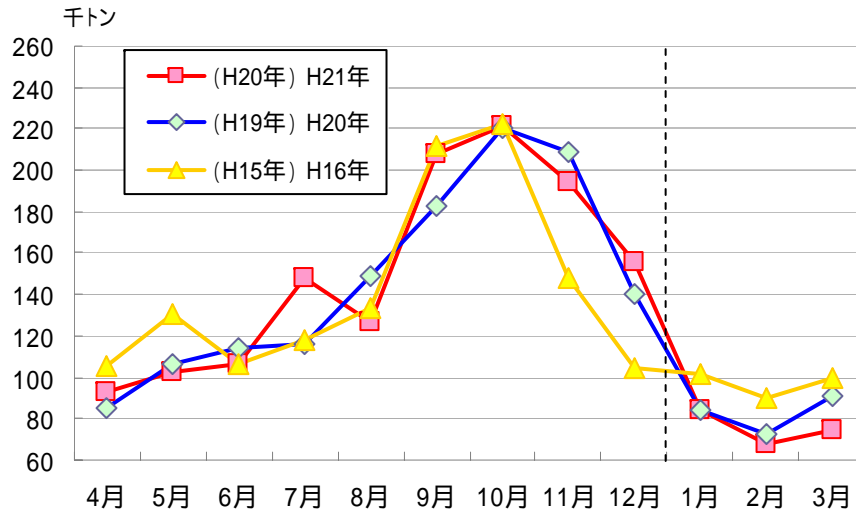
平成21年5月
水産庁漁政部企画課

1 産地水揚量の動向

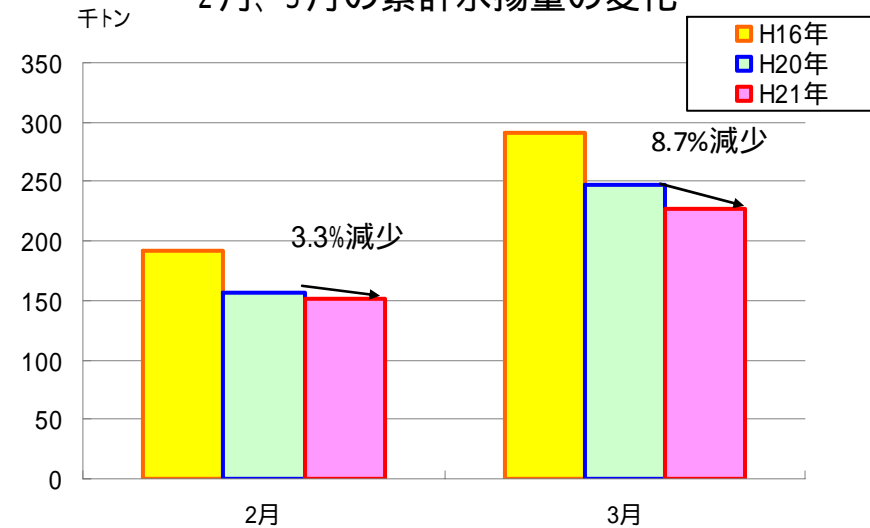
平成21年3月の水産物産地水揚量は75千トで、前年同月と比べ17.8%減少した。これは、主にほっけ(37.9%減)、まあじ(46.5%減)等の水揚量が減少したためである。

また、平成21年の水産物の累計産地水揚量は3月までで227千トで、前年同月と比べ8.7%減少し、前年同月比3.3%の減少であった先月から減少幅が拡大している。これは、累月ベースでさば類(30.0%増)等で水揚量が増加したが、ほっけ(39.0%減)、かたくちいわし(22.0%減)等大抵の魚種で水揚量が減少したためである。

産地水揚量の推移(単月ベース)



2月、3月の累計水揚量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21累計
水揚量	数量(千トン)	1,603	84	67	75	227
	前年同月比	-2.8%	0.0%	-7.2%	-17.8%	-8.7%
	H16年同月比	-1.7%	-17.1%	-25.5%	-24.9%	-22.3%

出典: 農林水産省「産地水産物流通統計」

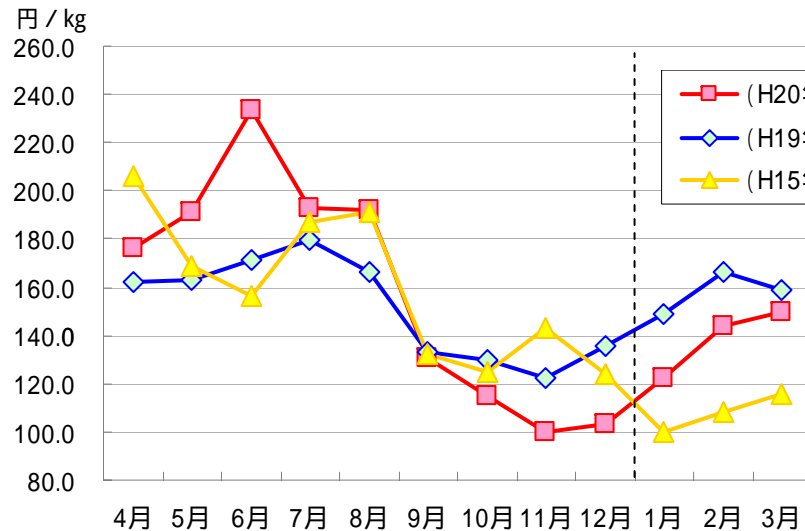
- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の については、平成15年合計値との比較である。

2 産地平均卸売価格の動向

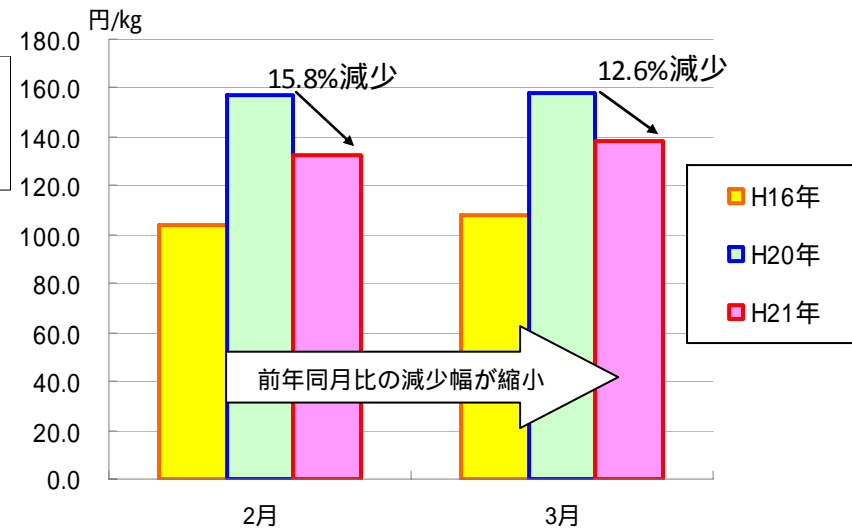
平成21年3月の平均産地卸売価格は150円/kgで、前年同月と比べ5.9%低下した。これは、主に、冷凍かつお、さば類、かたくちいわしでの、水揚金額が減少したためである。

平成21年の平均(累計平均)の産地卸売価格は3月までで138円/kgで、前年同月と比べ12.6%減少したが、前年同月比15.8%減少であった先月から減少幅は縮小した。これは、累月ベースで、国際価格の低下の影響を受けて価格が低迷している冷凍かつおや、えさ需要が低下しているかたくちいわし等で水揚金額が減少したものの、冷凍近海するめいかや生鮮かつおで水揚金額が増加したためである。

産地平均卸売価格の推移(単月ベース)



2月、3月の産地平均卸売価格(累計平均)の変化



		H20平均	H21.1	H21.2	H21.3	H21平均
平均産地 卸売価格	価格(円/kg)	150	123	144	150	138
	前年同月比	4.9%	-17.5%	-13.5%	-5.9%	-12.6%
	H16年同月比	0.0%	22.7%	33.4%	29.1%	28.0%

出典: 農林水産省「産地水産物流通統計」

- 注: 1) 本統計は、全国2177漁業地区のうち、漁業地区別の総水揚量が海面漁業生産量のおおむね7割を占めるまでの漁業地区から、対象品目ごとに上場水揚量の上位20漁業地区を選定し、そのうち原則として調査対象品目が5品目以上ある漁業地区を対象として集計したものである。
- 2) 本統計による平成19年の年間水揚量(1682千トン)の総生産量(5639千トン)に対する割合(カバー率)は約30%である。
- 3) 2003年の数値については、現在の区分にないデータ(まかじき等)を除いて算出している。
- 4) 表中の「」については、平成15年合計値との比較である。

(参考)魚種別の累計水揚量・卸売価格

品目	累積の上場水揚量 (t)			累積の平均卸売価格 (1kg当たり円)			
	平成21年 1月～3月	20年 1月～3月	対前年 同期比	平成21年 1月～3月	20年 1月～3月	対前年 同期比	
			%			%	
まぐろ (生鮮)	1	25	49	51	5 281	6 104	87
〃 (冷凍)	2	48	184	26	1 814	3 439	53
びんなが (生鮮)	3	7 183	7 331	98	361	366	99
〃 (冷凍)	4	304	471	65	340	313	109
めばち (生鮮)	5	1 478	1 716	86	1 045	1 239	84
〃 (冷凍)	6	3 929	5 289	74	792	751	105
きはだ (生鮮)	7	1 496	1 184	126	817	1 054	78
〃 (冷凍)	8	1 413	2 443	58	449	503	89
かつお (生鮮)	9	2 804	2 201	127	380	461	82
〃 (冷凍)	10	50 961	52 435	97	146	184	79
まいわし	11	880	2 287	38	168	139	121
うるめいわし	12	2 945	2 784	106	74	78	95
かたくちいわし	13	31 937	40 992	78	33	60	55
まあじ	14	15 719	19 676	80	219	181	121
むろあじ	15	7 159	11 206	64	112	93	120
さば類	16	69 436	53 373	130	77	106	73
さんま	17	94	225	42	57	62	92
ほっけ	18	21 593	35 554	61	34	39	87
するめいか (生鮮)	19	4 661	6 414	73	211	159	133
〃 (冷凍、遠洋)	20	2	-	-	197	-	-
〃 (冷凍、近海)	21	2 436	2 150	113	237	209	113

資料:農林水産省「産地水産物流通統計」

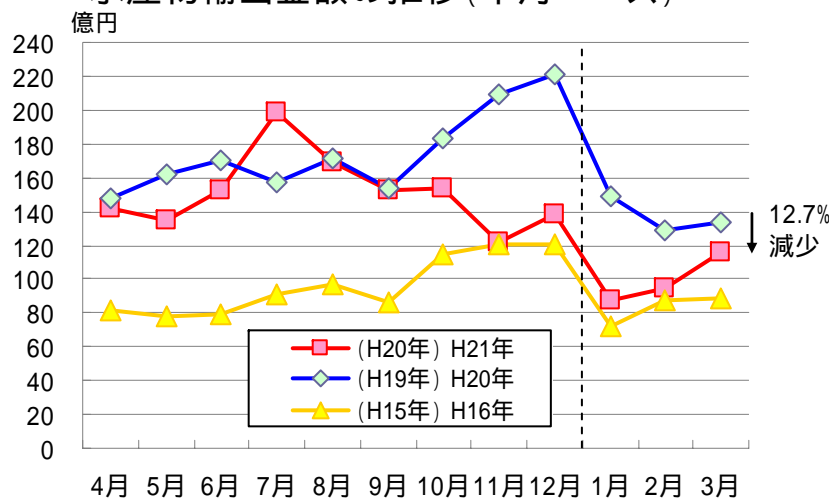
注:1)「まぐろ」とは、くろまぐろ及びみなみまぐろの合計である。

3 - 水産物輸出金額(真珠を除く)の動向

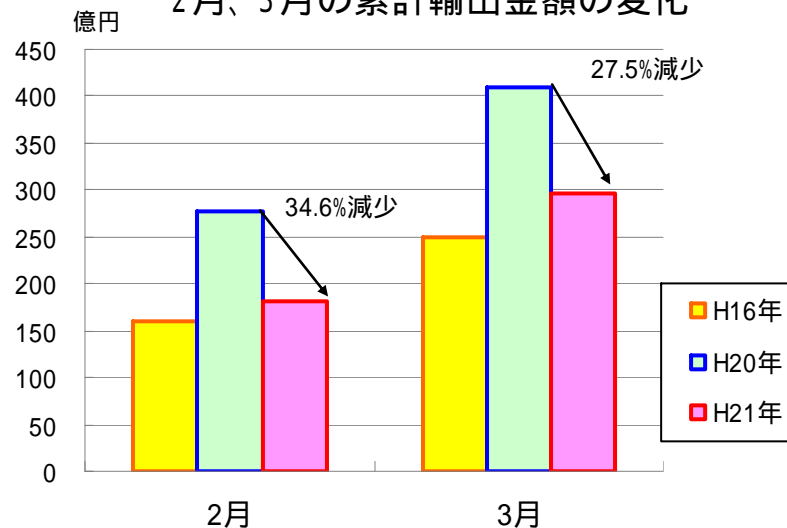
平成21年3月の水産物輸出金額は116億円で、前年同月と比べ12.7%減少した。これは、さけ・ます(85.8%増)、貝柱調整品(110.8%増)等で輸出金額が増加した以上に、あわび調整品(66.2%減)、かつお類(70.5%減)等で輸出金額が減少したためである。

平成21年の水産物の累計輸出金額(真珠除く)は3月までで297億円で、前年同月と比べ27.5%減少した。これは、円高や世界的な不況の影響により累月ベースでかつお類(89.3%減)、さば(36.4%減)、ほたて貝(31.9%減)、いか(47.7%減)等の品目で輸出金額が大幅に減少したことによる。

水産物輸出金額の推移(単月ベース)



2月、3月の累計輸出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21累計
輸出	金額(億円)	1,772	87	94	116	297
	前年同月比	-13.1%	-41.5%	-26.7%	-12.7%	-27.5%
	H16年同月比	59.5%	20.2%	7.0%	31.2%	19.5%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

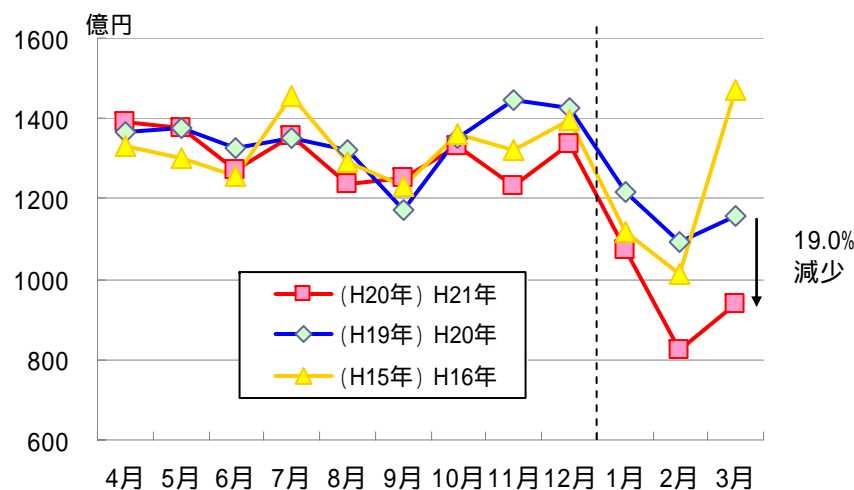
2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

3 - 水産物輸入金額(真珠を除く)の動向

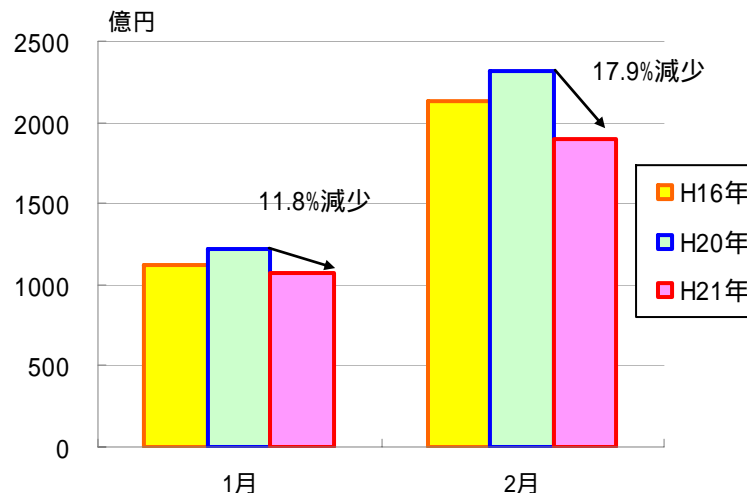
平成21年3月の水産物輸入金額は937億円で、前年同月と比べ19.0%減少した。これは、主に、えび(21.4%増)等で輸入金額が増加した以上に、まぐろ類(42.7%減)、たらの卵(93.7%減)、たら(76.3%減)等の輸入金額が大幅に減少したためである。

平成21年の水産物の累計輸入金額(真珠除く)は3月までで2,834億円で、前年同月と比べ18.7%減少した。これは、国内需要の低迷や円高により累月ベースでまぐろ類(31.0%減)、たら(65.0%減)、うなぎ調整品(64.3%減)等の輸入金額が大幅に減少したことによる。

水産物輸入金額の推移(単月ベース)



2月、3月の累計輸入金額の変化



	H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21累計	
輸入	金額(億円)	15,249	1,074	823	937	2,834
	前年同月比	-3.9%	-11.8%	-24.7%	-19.0%	-18.3%
	H16年同月比	-0.8%	-3.7%	-18.6%	-36.3%	-21.2%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

2)毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の累計輸出入金額

輸出金額(億円)				輸入金額(億円)			
品目	平成21年 1～3月	平成20年 1～3月	前年 同月比	品目	平成21年 1～3月	平成20年 1～3月	前年 同月比
真珠	54.8	105.8	-48.2%	まぐろ類(生・蔵・凍)	530.9	769.5	-31.0%
乾燥なまこ(調製)	23.3	28.8	-19.1%	さけ・ます(生・蔵・凍)	353.0	361.2	-2.3%
さけ・ます(生・蔵・凍)	20.6	22.3	-7.6%	えび(活・生・蔵・凍)	343.5	385.3	-10.8%
すけとうだら(生・蔵・凍)	20.2	24.3	-17.0%	えび(調製)	116.8	122.5	-4.7%
さば(冷蔵・冷凍)	17.4	27.4	-36.4%	かに(活・生・蔵・凍)	83.0	67.6	22.9%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	16.4	24.0	-31.9%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	70.3	83.0	-15.3%
まぐろ類(生・蔵・凍)	16.3	20.5	-20.5%	真珠	67.6	115.4	-41.4%
ぶり(生・蔵・凍)	13.5	8.3	62.3%	魚粉	60.5	48.1	25.8%
貝柱(調製)	13.5	19.6	-31.4%	かに(調製)	49.3	43.9	12.3%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	12.5	15.3	-18.6%	ひらめ・かれい(生・蔵・凍)	46.0	49.2	-6.6%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

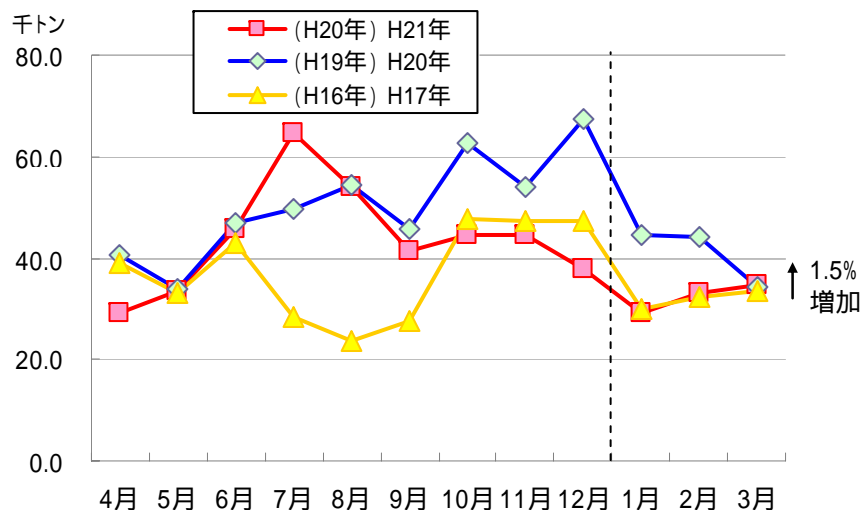
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

4 - 水産物輸出数量の動向

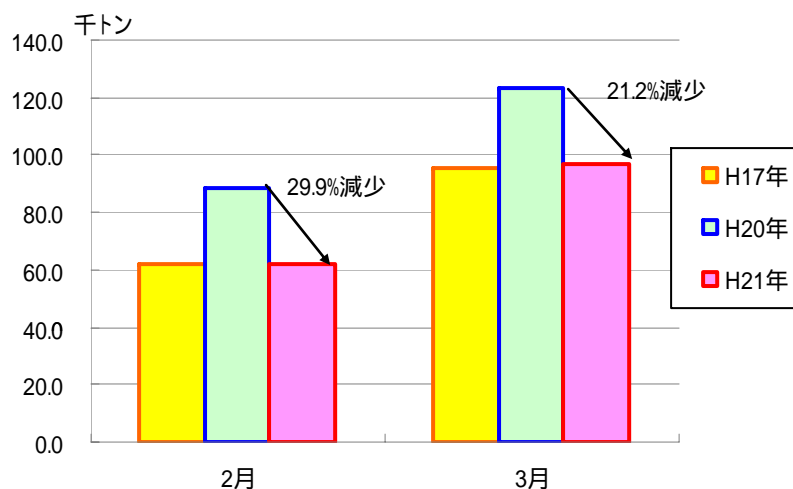
平成21年3月の水産物輸出量は34.8千トンを、前年同月と比べ1.5%増加した。これは、かつお類(57.3%減)、いか(38.4%減)等で輸出量が減少した以上に、さけ・ます(62.9%増)、冷凍さんま(54.1%増)等の輸出量が増加したためである。

平成21年の水産物の累計輸出量は3月までで96.9千トンを、前年同月と比べ21.2%減少した。これは、円高や世界的な経済不況の影響により、かつお類(83.5%減)、いか(55.1%減)、さば(23.9%減)、等の品目で輸出量が前年同月を大きく下回ったことによる。

水産物輸出数量の推移



2月、3月の累計水産物輸出量の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21累計
輸出	数量(千トン)	518.4	29.2	33.0	34.8	96.9
	前年同月比	-15.3%	-34.3%	-25.5%	1.5%	-21.2%
	H17年同月比	22.2%	-2.3%	1.9%	4.1%	1.4%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

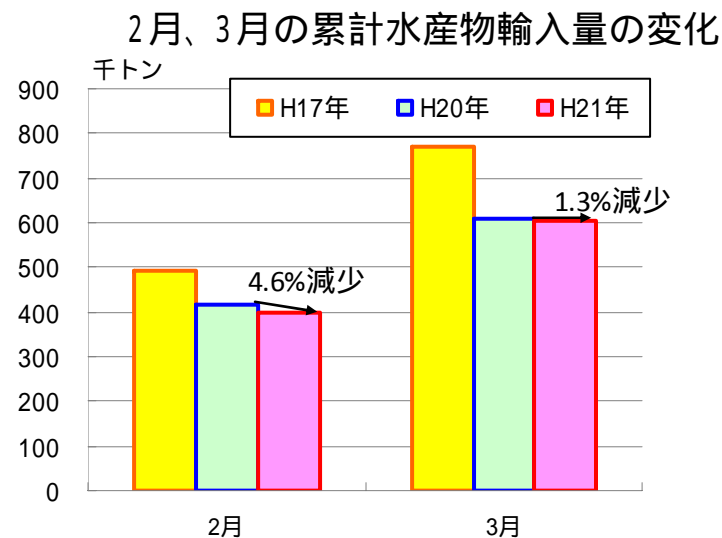
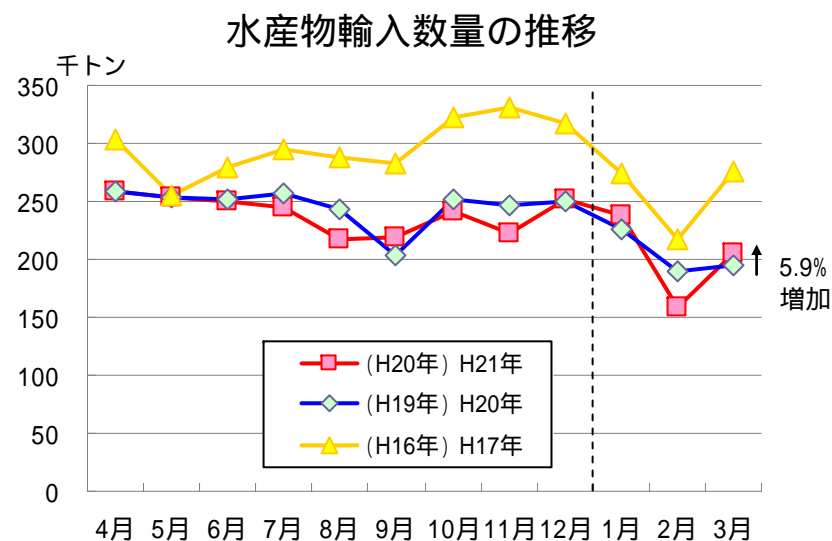
注: 1) 表中の については、平成16年合計値との比較である。

2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

4 - 水産物輸入数量の動向

平成21年3月の水産物輸入量は206千ト、前年同月と比べ5.9%増加した。これは、米国産の大幅な減産により、たら(65.8%減)、たらの卵(89.8%減)で輸入量が減少したが、魚粉(49.3%増)、えび(37.0%増)等の品目で輸入量が増加したことから、減少分を上回る増加となったためである。

平成21年の水産物の累計輸入量は3月までで603千ト、前年同月と比べ1.3%減少した。これは、魚粉(37.4%増)、魚油(114.9%増)、円高や国際価格の低下に影響を受けたかつお類(110.6%増)等の品目で輸入量が前年同月を上回った以上に、たら(52.3%減)、さけ・ます(10.5%減)、さば(28.2%減)等の品目で輸入量が減少したためである。



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21計
輸入	数量(千トン)	2,768	238	159	206	603
	前年同月比	-4.0%	5.2%	-16.4%	5.9%	-1.3%
	H17年同月比	-20.6%	-13.3%	-27.1%	-25.5%	-21.6%

資料: 農林水産省「農林水産物輸出入情報」

注: 1) 表中の については、平成16年合計値との比較である。

2) 毎月中旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の累計輸出入数量

輸出量(千トン)				輸入量(千トン)			
品目	平成21年 1～3月	平成20年 1～3月	前年 同月比	品目	平成21年 1～3月	平成20年 1～3月	前年 同月比
さば(冷蔵・冷凍)	19.0	24.9	-23.9%	魚粉	69.6	50.7	37.4%
さんま(冷凍)	16.8	15.1	11.3%	さけ・ます(生・蔵・凍)	68.8	76.9	-10.5%
すけとうだら(生・蔵・凍)	13.9	13.4	4.0%	まぐろ類(生・蔵・凍)	54.4	59.9	-9.3%
さけ・ます(生・蔵・凍)	9.5	11.4	-16.5%	えび(活・生・蔵・凍)	41.3	40.9	0.9%
いか(生・蔵・凍)	5.4	12.0	-55.1%	あじ(冷凍)	23.4	15.9	47.1%
まぐろ類(生・蔵・凍)	4.4	5.2	-16.2%	魚油 海獣油	17.5	8.1	114.9%
かつお類(生・蔵・凍)	1.9	11.6	-83.5%	さば(生・蔵・凍)	16.5	23.0	-28.2%
練り製品(魚肉ソーセージ等)	1.6	2.1	-23.4%	えび(調製)	15.0	14.5	3.1%
たい(活)	1.5	1.2	23.3%	いか(活・生・蔵・凍もんごう含む)	14.8	16.9	-12.2%
ホタテ貝(生・蔵・凍・塩・乾)	1.4	2.1	-34.2%	かつお類(生・蔵・凍)	14.7	7.0	110.6%

資料:農林水産省「農林水産物輸出入情報」、財務省「貿易統計」

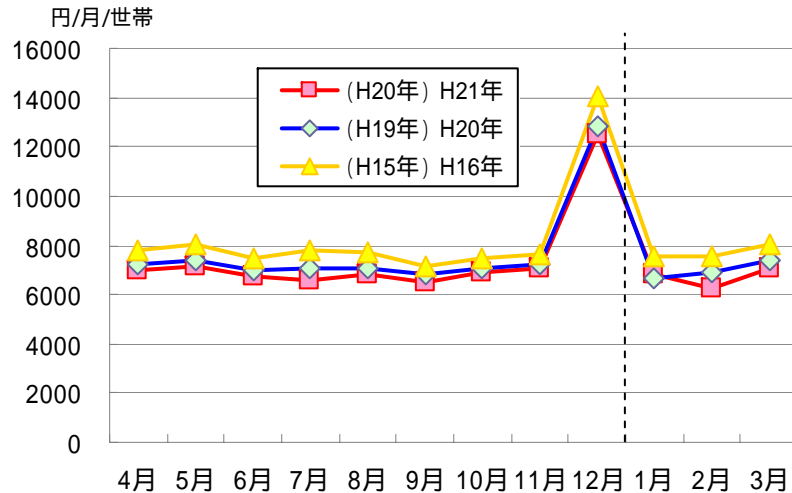
注:1)本表における数値は、「農林水産物輸出入情報」(以下「輸出入情報」という)の集計区分による数値を基に水産庁漁政部企画課で集計したものである。

5 魚介類の家計消費の動向

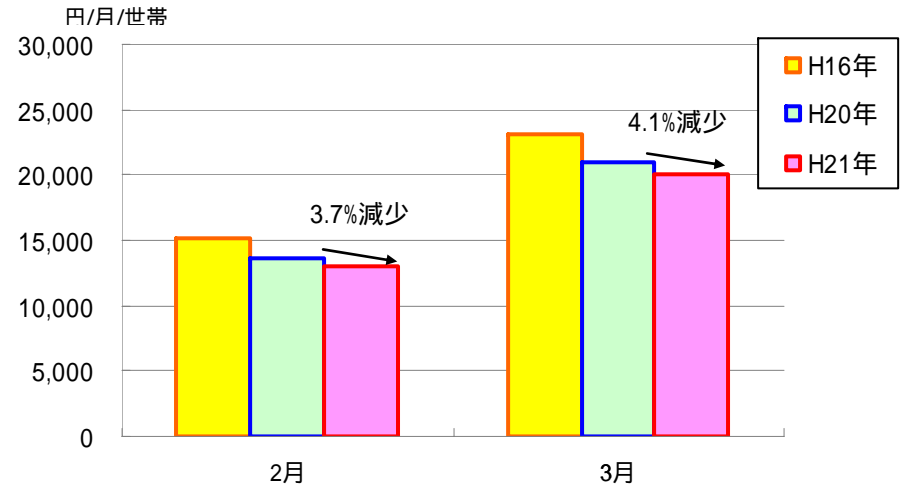
平成21年3月の魚介類1世帯1月当たりの支出金額は7,039円/月/世帯で、前年同月と比べ5.0%減少した。これは、単月ベースでかに(17.6%増)、かれい(4.3%増)、魚肉練製品(3.4%増)等で支出金額が増加した以上に、まぐろ(8.0%減)、いか(12.5%減)、あじ(18.4%減)等の支出金額が減少したことによる。

平成21年の魚介類1世帯1月当たりの累計支出金額は3月までで20,120円/月/世帯で、前年同月と比べ4.2%減少した。前年同月と比べ累計支出金額が少ないのは、さんま(10.6%増)、えび(1.9%増)等の品目で支出金額が増加した以上に、まぐろ(10.8%減)、いか(10.6%減)、ぶり(6.4%減)が減少、たらこ(15.0%減)等の品目で支出金額が減少したことによる。

魚介類1世帯1月当たり支出金額の推移(単月ベース)



2月、3月の魚介類1世帯1月当たり支出金額の変化



		H20計	H21.1	H21.2	H21.3	H21累計
魚介類 支出金額	金額(円/月/世帯)	88,211	6,851	6,230	7,039	20,120
	前年同月比	-3.5%	2.3%	-9.6%	-5.0%	-4.2%
	H16同月比	-10.4%	-9.2%	-17.5%	-12.7%	-13.1%

資料:総務省「家計調査報告」

注:1)表中の については、平成15年合計値との比較である。

2)本統計は、全国の農林漁家を除く二人以上の8076世帯を対象とするサンプル調査の結果を集計したものである。

3)魚介類は、生鮮魚介21品目、塩干魚介7品目、魚肉練製品4品目および他の魚介加工品5品目の合計である。

4)毎月初旬に、2ヶ月前の統計が公表される。

(参考) 品目別の1世帯当たり支出金額

品目	平成21年 3月	平成20年 3月	対前年 同月比	平成21年 1~3月	平成20年 1~3月	対前年 同月比	品目	平成21年 3月	平成20年 3月	対前年 同月比	平成21年 1~3月	平成20年 1~3月	対前年 同月比
鮮魚	3,816	4,044	-5.6%	10,846	11,326	-4.2%	ほたて貝	130	134	-3.0%	373	378	-1.3%
まぐろ	515	560	-8.0%	1,340	1,503	-10.8%	他の貝	69	73	-5.5%	138	153	-9.8%
あじ	124	152	-18.4%	322	370	-13.0%	塩干魚介	1,253	1,397	-10.3%	3,564	3,873	-8.0%
いわし	54	62	-12.9%	153	162	-5.6%	塩さけ	155	163	-4.9%	456	480	-5.0%
かつお	129	134	-3.7%	270	263	2.7%	たらこ	222	262	-15.3%	605	712	-15.0%
かれい	169	162	4.3%	444	464	-4.3%	しらす干し	120	132	-9.1%	325	350	-7.1%
さけ	343	353	-2.8%	918	942	-2.5%	干しあじ	105	104	1.0%	282	305	-7.5%
さば	93	100	-7.0%	285	313	-8.9%	干しいわし	32	40	-20.0%	124	144	-13.9%
さんま	54	52	3.8%	156	141	10.6%	煮干し	32	38	-15.8%	94	105	-10.5%
たい	123	130	-5.4%	304	321	-5.3%	他の塩干魚介	587	657	-10.7%	1,678	1,777	-5.6%
ぶり	286	307	-6.8%	944	1,009	-6.4%	魚肉練製品	731	707	3.4%	2,169	2,163	0.3%
いか	217	248	-12.5%	591	661	-10.6%	揚げかまぼこ	236	219	7.8%	707	689	2.6%
たこ	108	107	0.9%	278	290	-4.1%	ちくわ	158	151	4.6%	462	435	6.2%
えび	293	297	-1.3%	788	773	1.9%	かまぼこ	215	223	-3.6%	601	645	-6.8%
かに	87	74	17.6%	427	425	0.5%	他の魚肉練製品	122	114	7.0%	398	393	1.3%
他の鮮魚	763	832	-8.3%	2,222	2,341	-5.1%	他の魚介加工品	803	826	-2.8%	2,224	2,273	-2.2%
さしみ盛合わせ	457	475	-3.8%	1,398	1,349	3.6%	かつお節・削り節	78	83	-6.0%	221	229	-3.5%
貝類	436	437	-0.2%	1,316	1,364	-3.5%	魚介の漬物	217	220	-1.4%	597	627	-4.8%
あさり	128	129	-0.8%	258	266	-3.0%	魚介のつくだ煮	82	101	-18.8%	230	251	-8.4%
しじみ	30	33	-9.1%	91	104	-12.5%	魚介の缶詰	208	191	8.9%	565	541	4.4%
かき	80	69	15.9%	457	464	-1.5%	他の魚介加工品の その他	218	231	-5.6%	612	625	-2.1%

資料:総務省「家計調査報告」

本資料は、各々の出典に基づいて水産庁漁政部企画課で作成したものであり、本資料中における平成19年及び平成20年合計値は速報値である。

次回(平成21年4月版)の発行は、平成21年6月中旬の予定であるが、出典の公表時期などにより前後することがある。

お問い合わせ先

水産庁 漁政部 企画課 動向分析班
担当 長尾

電話:03-3502-8111(内線6578)

直通:03-6744-2344